



まごころ通信

施設訪問—NPO法人くるくる—

先日、刈谷市にある「NPO法人くるくる」に訪問させて頂きました。

くるくるでは、小学部～高等部までは「放課後等デイサービス」 成年期では「就労移行・支援事業」 成人期では「就労継続B型」といったように将来に向け切れ目なく支える支援をしています。

就労移行では、施設トレーニングやグループ実習、一人実習、就職活動など行っていて、実際にユニクロや大きな会場の掃除を行ったり、たくさんの仕事がありました。

その話を聞いていて驚いたことは就労移行するには自立通勤が必要だということです。

実際にその場に行っただけでしか知ることの出来ないお話を多く聞くことが出来、今私たちに出来ることは何があるのか、どんなことをしたらこれからの将来に役に立つのかを考えることが出来たのでとてもいい経験をさせていただきました。

後日一緒に同行をしたお母さんからこのような手紙をいただきました。

『施設訪問は初参加でした。障害者を取りまく制度が変更後の訪問でしたので、これからの障害福祉の雇用の一端を理解するきっかけとなった1日でした。』

子どもが中学生になり大きな節目を迎え、悩みを抱えていた時に支援員さん達の熱心な話は非常に勉強になり、私の支えになりました。有意義な1日をありがとうございました。』



「説明を聞く参加者」



デイサービス通信

唱 和



うれしいなあ たのしいなあ
すばらしいなあ しあわせだなあ
ありがたいなあ
わたしは光り輝いている
今日もこの笑顔で出発だ！

月刊『仕事の記録帖』より

デイサービスで最近、毎日この言葉を皆で唱和しています。

始めのうちは、「しあわせだなあ」と言っても「しあわせでないなあ」と言葉が返ってくることもありましたが。最近では皆さん真剣に笑顔を添えて言ってくれます。

いつも前向きな言葉を発することで、いつの間にか本当に前向きになれる。人は自己暗示にかかりやすいとも言えます。おかしなくても、笑顔でいることで気分が随分と良くなることもあります。

スタッフのほうが、気分がへこんだ時もこの唱和で「よし！頑張ろう！」という気持ちにさせられます。

6月は比較的雨降りが少なく、広場横のガレージで公園の新緑を眺めながら『足湯』でくつろいで頂きました。



「梅雨の晴れ間に浅井山公園へ散策」



心づれ



命の大切さ

5月の最後の日曜日、名古屋市女性会館に出かけました。大学の同級生から手紙が届き、映画と講演会があるので、ぜひ来てくださいとの内容でした。丁度その日曜は珍しく予定もなく空いていたので、久しぶりに名古屋に足を向けました。

女性ばかりと思っていましたが、男性もちらほら。150人ばかりの小さな映画会。「生きる力を求めて(中村久子の生涯)」というタイトルで、明治30年生まれのある女性の生きざまの映画です。岐阜県高山市で育ったその女性は、3歳にして両手、両足の切断というハンディを背負いながら、明治、大正、昭和の時代を2児の母、そして興業芸人、作家として自立した生活を送りました。

現実を受け入れることの難しさ、大切さ。人と比較してハンディを恨むのではなく、ハンディをハンディとして受け入れ、前向きに生きていく。目標を絶えず持ち、人として生きていく。この難問に打ち勝ったある女性の物語です。

どうして自分だけが手が無い、足が無いのか、自分は人間ではないのか、こんな体では死んでしまう方が楽になるのではないのか、いやそうではない、この現実を恨むのではなく、素直に受け入れ、人としていかに生きていくのか、命の大切さを思い知り、明日に向かって希望を持って生きる道を選ぼう。これが、中村久子さんが辿り着いた結論でした。

約1時間の映画でしたが、観る者を圧倒する迫力が感じられました。普段、命の大切さを、考えもしなく、忘れがちな毎日を送っている我々にとって大きな警鐘を鳴らしているのではないのでしょうか・・・

「手足なき 身にしあれども 生かざる
いまのいのちは たふとかりけり」
「おおいなる よろこびむねに いだきつつ
けふも過ぎしぬ 朝なゆうなを」

賛助会員 栗本和徳

ヘルパーだより

Aさん(80歳男性、独居)週に3回、3人でケアに入っています。

身体に障害があり、聴覚障害もあるので、電話の代行や、聞き取りの要るときはお手伝いさせていただいています。調理は昔やってみえたので、献立と一緒に考えながら行っています。

最近は腕が上の方まで上がらなくなってきたので、顔の清拭、髪を整えを行っています。髪をといていると、とても気持ちがいいとにこりとされます。

何事にも一生懸命になられる方で、俳句を作られたり、パソコンにも挑戦してみえ、成果を出されています。

色々なお話をさせていただく中で、人としてヘルパーとして色々勉強させていただくことがあります。これからはお元気で過ごされるように、ケアをしていきたいと思っています。これよりAさんの書かれた俳句を紹介させていただきます。

せせらぎの リズムに癒され飛ぶホタル

梅雨入りで 町には傘の 展示会

飲む食べる 鶉にも負けじと 屋形船

雨蛙 里芋ハウスで 空、眺め

入梅で 我が食卓も 梅料理

川一杯 灯りが光る 甘乃川

解禁で 川は釣り人 竿の群れ

浴衣着せ 娘の成長 浪花節



ご利用者さんからのことば・・・

私、ヘルパーさんにお世話になって10年余り、いろいろと助けをかりております。この先長いのか短いのか、これまで通りお世話お願いいたします。